**令和２年度 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修プログラム**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時　間 | 内　　容 | | |
| 12:30～12:50 | 受付 | | |
| 12:50～12:55 | オリエンテーション | | |
| 12:55～13:00 | あいさつ | | |
| 13:00～14:30  （90分） | 講義 | | |
| １ 目的 | ねらい | 認知症の人の視点で、認知症ケアに求められていることを理解する |
| 到達目標 | 1　1 研修の目的を理解する |
| 2 認知症の人の視点で、対応への課題を理解する |
| 3 認知症の人を取り巻く施策等について理解する |
| 主な内容 | ・入院する認知症の人に起こっていること |
| ・認知症の人の将来推計 |
| ・認知症に関連する国の施策（研修の背景） |
| ・一般病院での認知症対応のための体制整備の要点 |
| ２ 対応力 | ねらい | 疾患を理解し、入院中の対応の基本を習得する |
| 到達目標 | 1　疾患の特徴を理解する |
| 2 入院生活における認知症の人の行動の特徴を理解し、対応方法について習得する |
| 3 各専門職の役割と院内連携について理解する |
| 主な内容 | ・認知症の病型、症状、経過 |
| ・治療薬と薬物以外の療法とケア |
| ・介護者の支援 |
| ・認知症の人の理解 |
| ・認知症ケアの基本 |
| ・行動・心理症状（BPSD）への対応 |
| ・せん妄への対応 |
| ・各医療従事者の基本的な役割ｔｐ院内連携上の役割 |
| ３　連携等 | ねらい | 院内・院外の多職種連携の意義を理解する |
| 到達目標 | 1 多職種連携の意義とメリットを理解する |
| 2 院内・院外で多職種連携するメリットを理解する |
| 3 多職種で行うカンファレンスの要点を理解する |
| 主な内容 | ・多職種連携の意義とメリット |
| ・入院前、退院後も含めた多職種連携・他機関連携 |
| ・多職種で行うカンファレンス |
| ・入院時・退院時カンファレンスの主な検討課題 |
| （10分） | 休憩 | | |
| 14:40～15:50  （90分） | 演習  　模擬演習  　サンプル事例より  ①認知症の人の退院支援  　　②興奮を呈するケースへの対応  　　　発表・まとめ | | |
| 15:50～16:00 | 閉会 | | |